

宮城県加美農業高等学校
株式会社 NTT e-Drone Technology
東日本電信電話株式会社 宮城事業部

農業高校の生徒がドローン活用の次世代型農業を体験！

～日本農業の未来をけん引する人材育成に向け、宮城県加美農業高校と NTT 東日本グループが連携～

宮城県加美農業高等学校(校長:川上 剛弘、以下「加美農業高校」)と株式会社 NTT e-Drone Technology(代表取締役社長:滝澤 正宏、以下「NTT イードローン」)及び東日本電信電話株式会社 宮城支店(支店長:須藤 博史、以下「NTT 東日本」)は、加美農業高校において、NTT イードローンの国産農業ドローンを使ったスマート農業に関する授業やドローンによる農薬散布実演等を行い、加美農業高校が目指す、未来の農業をけん引する中核人材の育成に向けた農業教育高度化構想の実現に向け、連携を開始します。

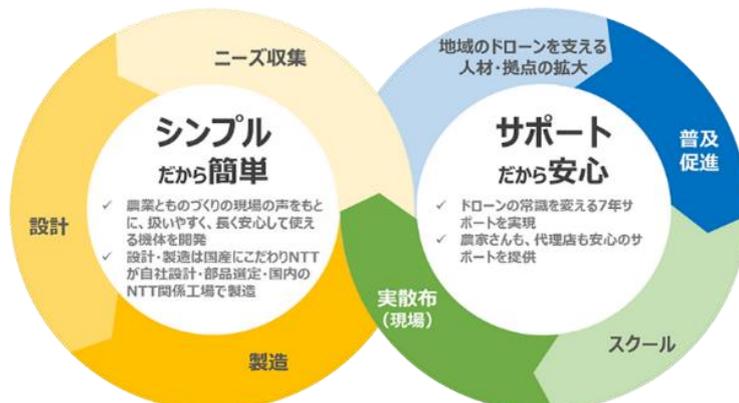
1. 背景と目的

加美農業高校は、「地域とともに農業界の次代を創造する人材を育成する」という学校教育目標のもと、全国屈指の広さを誇る校地をフィールドにICTの活用や探究的な学びを通じて将来にわたって農業スペシャリストとして活躍できる人材の育成を目指しています。

NTT 東日本は、地域の未来を支えるソーシャルイノベーション企業をビジョンに、高品質で安定した通信サービスの提供や ICT の活用を通じ、地域の課題解決に取り組んでいるところですが、今回、加美農業高校の教育目標に共感し、NTT 東日本グループの NTT イードローンと連携し、農業向けドローン「AC101connect」を活用して加美農業高校の水稲圃場農薬散布を請け負うとともに、ICTを活用した加美農業高校らしい魅力あるカリキュラムづくり及び新規就農中核人材育成の支援に向け連携を行います。

2. 活用する国産農業ドローン「AC101connect」の概要

NTT イードローンは日本の圃場にあわせた農業用ドローンを自ら設計・開発・製造しており、現場のニーズに基づき機体開発と人材育成を進めています。国産農業ドローン「AC101connect」は、軽量・コンパクト・高性能という特徴を持ち、日本の農業現場に適した「簡単・安心・省力」を実現し国産農業ドローンです。



3. 実施概要

- ① 水稻やデントコーンの作付け状況の空撮
- ② ドローン及び空撮映像を活用したスマート農業勉強会、実圃場でのドローンによる農薬散布デモフライト
- ③ ドローンを活用した水稻圃場の農薬散布及び生徒向け防除作業の現場学習

4. 今後について

農業分野の抱える「従事者の高齢化」「人材不足」「重労働」などさまざまな課題を解決する手段として、近年スマート農業が注目を集めており、特にドローンは、農作業を効率化するツールとして急速に普及がはじまっています。

加美農業高校は、日本の未来の農業をけん引する新規就農中核人材育成機関として、ドローンを活用した次世代型農業を始め、農業教育の高度化を目指してまいります。

NTT 東日本グループは、農作業の省力化や生産性向上の実現に貢献することを目的として、ドローンの社会実装を推進することで地域の課題解決に貢献してまいります。

以上